



「しばらく遺体と  
ふたりだけにしてほしい」

臓器を抜かれ手足を切断された遺体、変わり者の事件分析官が  
独自の手法で遺体を精査し、女性分析官と共に猟奇殺人犯に挑む!

スリリングな展開、面白い! 面白くて、ああっ、やめられません。  
これぞドイツミステリ! いいですね。——有隣堂伊勢佐木町本店 佐伯敦子

# 人形遣い

事件分析官アーベル&クリスト

ライナー・レフラー 酒寄進一 訳

創元推理文庫

臓器と血を抜き取られ  
バラバラにされた遺体

# おぞましい 連続猟奇殺人!

独自の捜査方法で数々の事件を解決してきた  
事件分析官アーベルと

反発しながらもその手腕に

惹かれていく新人女性分析官クリストが  
残虐な犯人〈人形遣い〉に迫る!

ドイツミステリの大型新人登場!